

- ・出勤簿にも押印、タイムカードと二重ではないか。
- ・タイムカードも導入しているのに時間外勤務記録簿に記入しなければならないのが大変。
- ・システム導入のため、一部教員に負担がかかった。
- ・手間が増えた。副校長の業務が増えて大変そうである。
- ・起動時とシャットダウン時のタイムラグがあって正確な勤務時間が反映されていない。

【個人調査】

4 あなたの1年間（17年9月～18年8月）の「年次休暇」取得日数は何日でしたか。

A	0～5日	110	4.9%
B	6日～10日	422	18.6%
C	11日～15日	655	28.9%
D	16日～20日	877	38.7%
E	21日以上	165	7.3%
	無効	38	1.7%
	合計	2,267	

昨年より「16日～20日」（昨年34.2%）「21日以上」（昨年5.0%）がわずかに増加していますが、半数以上の人が年次を消化しきれていません。

8 あなたはお盆の期間中の、8月13日(月)～16日(木)は何日休めましたか

A	0日	21	0.9%
B	1日	24	1.1%
C	2日	87	3.8%
D	3日	561	24.7%
E	4日	1,535	67.7%
	無効	39	1.7%
	合計	2,267	

学校閉庁日が設定されましたが、お盆期間に休めていない人がみられます。

10 あなたの繁忙期での1か月間の時間外勤務の合計は何時間程度になりますか

A	8時間未満	241	10.6%
B	8時間～49時間	815	36.0%
C	50時間～79時間	490	21.6%
D	80時間～99時間	272	12.0%
E	100時間以上	394	17.4%
	無効	55	2.4%
	合計	2,267	

過労死ラインを超える月80時間以上時間外勤務の割合は、今年の調査結果と同じく約3割です。

勤務時間状況記録簿の県教委の集計では1割程度しかありません。

県人事委員会の2016年度の調査では、月100時間以上が県立学校で22%という結果が出ています。

16 多忙解消のために最もとりくむべきことは何だと考えますか。1つ選んでください

A	部活動指導の改善	296	13.1%
B	校務分掌等事務的業務改善	544	24.0%
C	県教委諸施策の改善	175	7.7%
D	教職員定数の改善	979	43.2%
E	その他	187	8.2%
	無効	86	3.8%
	合計	2,267	

昨年と同じく「教職員定数の改善」が一番多い割合でしたが、昨年は38.7%であり、教職員定数の改善を求める声が更に強くなっています。（6年前は27.9%）